

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1-1)	新しい理念を作成したことで、スタッフへの周知がまだ不十分で、理念の理解ができていない。	新しい理念の理解と、理念に沿ったケアの構築	毎月行っている合同カンファレンス時に読み合わせをおこなっている。今後も毎月読み合わせを継続していくことと、玄関並びに多くの人が目につく場所に掲示する。	3ヶ月
2	(10-6)	推進会議において防災、火災、水害時の避難訓練への出席と協力体制が不十分である。多くの高齢者を抱えていることから、避難誘導時の人出は多いほどいいと思っているためこのことも課題である。	避難訓練と一緒にBCPの訓練も声掛けして年2回は実施する。	推進会議時、防災(火災、水害)時の対応のことや、BCPの説明を毎回行い、具体的な実施日が決めたら速やかに実施時に参加協力をお願いする。	6ヶ月
3	(11-7)	推進会議にスタッフの参加が少なく、推進会議で何を話しているのか理解できていない。また、推進会とは、何なのかさえ理解できていないスタッフがいる。	毎回推進会議にスタッフ1名は参加することを義務付ける。	推進会議の日時が分かっていることから、推進会議に出席するスタッフを決めてその時に話を聞きながら、でも感じていることや意見は話してもらうこととする。また出席したスタッフは必ず持ち帰り、他のスタッフに伝えて行く。	8ヶ月
4	(35-13)	各事業所や防災担当はハザードマップのは持参しているが、事業所やスタッフの見えるところに掲示されていなかったことが、状況に応じてすぐに開示できなかったことが課題である。	今回から各事業所の見えやすいところ(玄関、休憩室、事務室、多目的室)にも掲示して誰もが見られるようにする。	ハザードマップは見づらく、自分の居場所もわかりづらく、もう少し見やすく誰もが見てすぐ理解できるようなマップにしたいと考えている。	3ヶ月
5	(36-14)	パーソンセンタードケアの基本的な利用方法がまだ理解されていないこともあり、フィードバックには時間がかかることが課題でもある	誰でもパーソンドケアの基本的な利用方法を取得したい。	定期的課題のある利用者や新規入所者に対してにカンファレンスを行い実践してパーソンドケア用紙に埋めていきたい。	10ヶ月
6	(49-18)	高齢化に伴い外出支援ができなくなっていることに関して何か別の方法や支援方法考えていく必要あり。	支援方法の見直しと選択肢の見直し	状態に応じて外出に替わる支援の選択肢を探しておこなってみる。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。